



箕輪進修高校 進路指導室

2012. 11. 22

3, 4年生用 No.61

挨拶は人間関係の潤滑油



先日ある企業の方が進路室に来られた際、事務室前の玄関から進路室まで来る間に会った生徒は誰も挨拶してくれなかったが、進路室前で初めて（工業科の）生徒数人が挨拶をしてくれたと言っていました。確かに、校内の廊下等で生徒とすれちがった際、こちらから挨拶をすると、返事が返ってきますが、自分から率先して挨拶してくれる生徒が少ない様な気がします。

企業の方によく言われることは、「**きちんと挨拶の出来る子が欲しい**」ということです。世の中は人と人との関わりで成り立っています。特に会社では、お互いに協力し合って仕事をしていく為にも互いの意思の疎通が大切であり「挨拶」がそれだけ重視されます。廊下ですれちがった時にきちんと挨拶をしてくれると気持ちが良いものです。逆に年下の者が何も挨拶しなければ「こいつ何を考えているんだ」と不信感を持たれ、次第に気まずい思いをするということががちです。

たった一言の「おはようございます」「こんにちは」「さよなら」という言葉が言えなかっただけで人間関係が気まずくなるとは何とも残念です。最近の若い人はこうした一言が欠けがちです。気恥ずかしいのでしょうか。それとも挨拶をきちんとする習慣が身についていないのでしょうか。たとえ何となく苦手意識を感じている相手でも普段から挨拶を交わしていると次第に互いの距離感が縮まり相手への親しみを感じてくるでしょう。

世の中でうまくやっていく為には「挨拶は人間関係の潤滑油」ということを肝に銘じて欲しいものです。挨拶はそれだけ重要だということをもっと自覚して欲しいものです。**若い時は相手が挨拶してくれるのを待つのではなく、自ら進んで挨拶するように心がけましょう。また挨拶は気恥ずかしさを捨て大きな声で。**



提出すべき書類は早めに提出を！

先日ある生徒が10月に合格を頂いたのにまだ会社にお礼状を出していないと言ってきました。他にもまだそういう生徒がいたら大至急提出して下さい。

皆さんは面倒と思うかもしれませんがこうした礼状は本校だけが出しているわけではありません。こうしたことがきちんと出来るか否かは会社でもきちんと見ています。また応募書類や礼状は出来るだけ速やかに出すかぐずぐず出すかによりその人の姿勢が見られます。

「打てば響く様な反応」と言われますが、そうした反応を示せばやる気もあるし事務処理能力もあると見なされますが、**ぐずぐずしていると本当にやる気があるのか疑われ、あまり使えそうにないと判断されかねません**。これは何事にも通じることです。

皆さんはややもすると提出物に対してルーズとなりがちでしょう。学生時代はそれで通用するかもしれませんが、社会に出ればきばきとこなすことが求められます。

なお、進路に関わって就職者も進学者も試験の報告書や、その他折々に出さなければいけない書類があったはずですが、まだ出し忘れの書類のある人は早めに提出を。特に試験報告書は必ず出して下さい。